

# うるわし通信



一般社団法人  
うるわしの桜井をつくる会  
〒633-0091 奈良県桜井市  
桜井1259エルトさくら内  
TEL&FAX:0744-43-7773  
URL: <http://lets.some.jp>  
E-mail: [lets@some.jp](mailto:lets@some.jp)

令和5年5月

## 奈良大和巡礼スタンプラリーをご存じですか？

くんなか

奈良県中央部は、大和朝廷の建国以来、我が国の歴史発祥の地といわれ、古来より国中とも呼ばれてきました。この由緒ある大和の地に創建された奈良大和四寺—安倍文殊院、岡寺、長谷寺、室生寺—は、いずれも1200年以上の歴史を誇り、御本尊および中尊はすべて国宝・重要文化財に指定されています。

四寺はこうした貴重な文化財や、境内を埋め尽くす季節ごとの花々によって、訪れる人々の心を満たすことを願い、平成27年5月に「奈良大和四寺巡礼」の会を結成しています。

令和4年9月からは「奈良大和巡礼スタンプラリー」が始まっており、2つの楽しみ方があります。



奈良大和巡礼スタンプラリー公式HPより

①スタンプラリーの対象の四寺のほか奈良県万葉文化館、なら歴史芸術文化村の6か所を巡ると、記念品「四カ寺の霊木で作られたご祈禱済みの念珠」が頂けます。

②アプリの加盟店（桜井・橿原・宇陀・天理の各エリアで現在43施設）では、購入の有無にかかわらず、和菓子やそうめんなど地域の特産物が「おもてなし品」としてプレゼントされます。

スタンプラリーには「デジタルアプリ版（<https://nara-yamato.com/stamprally/>）」

と、「スタンプ帳版（<https://nara-yamato.com/multilingual-stamprally-japanese/>）」があり、詳しくは、それぞれのサイトをご覧ください。尚、奈良大和巡礼スタンプラリーは桜井市のふるさと納税の返礼品にも採用されています。

令和5年5月13日には俳優の加藤雅也氏による「奈良大和四寺巡礼写真展」が東京新橋の奈良まほろば館で開催され、安倍文殊院が紹介されます。

また現在、全国旅行支援である「いまなら。キャンペーン2023」が実施されているほか、昨年5月からはJR東海による「いざいざ奈良」キャンペーンが展開されており、俳優の鈴木亮平氏によるCMも好評のようです。



安倍文殊院公式ツイッターより

コロナ禍も落ち着きを見せる今、関東からの奈良への注目が集まっています。この機会に我が桜井市でもおもてなしの精神を発揮して盛り上げて行きましょう。

うるわしの桜井をつくる会事務局 新 元秀

## よみがえれ寺川

大福地区は桜井市域の西端で南北に広がっています。その中央部に東から西に向かって流れる寺川があります。寺川は山間部から土砂を運び肥沃な大福平野を形成しました。周辺から弥生時代の遺跡が出土します。そして推古天皇の小懇田宮伝承がある様に古代から栄えた地でもあります。この地での寺川は農業、生活用水の供給源であり、物資輸送の水路として近年まで地域住民にとっては欠かせない川であったし、現在も農業用水として大事な川です。

時代が代わり、近年便利で丈夫な生活物質が増え、使い捨てが流行る大量消費の時代となりました。そして大量のゴミが放出され、河川への投棄も増えました。桜井市の環境フェアで小学児童の「大和川をうつくしく」の環境作文が紹介され、桜井市域の河川の汚れに大人として恥ずかしく感じました。寺川を見るとよどみに堆積するゴミの山(写真1)、堤に点在する粗大ゴミがあり、こんな寺川を渡って子供たちは学校に通っています。何とかしたいという思いで大福地区社会福祉協議会では奈良県が毎年3月に実施する大和川一斉清掃事業に参加することにしました。2018年から始め、2023年3月5日で6回目となります。毎回60人以上の地域のボランティアの方々に参加していただいています(写真2)。ゴミを集めるとテレビなどの電化製品や自転車や車のタイヤなどの粗大ゴミ、ゴミ袋やペットボトルで代表されるプラスチック製品や、缶ジュースなどの使い捨て容器などがいつも山の様に集積されます(写真3)。清掃を続ける事で寺川はずいぶんきれいになってきたと思います。とはいえ、まだゴミを投棄する多くの人が出て悲しくなります。

また、寺川の堤を安心して散歩でき、そして増水時の防災の観点から地区社協では県の河川サポート事業に参加し、堤の草刈りを実施しています。かつては背丈をこえる葦などが茂っていた堤防も見通しが良くなりました(写真4)。

寺川は桜井市域の山間部が源流です。本来自然豊かなきれいな川であるはずで、寺川のゴミや水質汚染は全て我々桜井市民が原因となっています。下流域の住民の方々に対しこんな恥ずかしい事はありません。高齢者のお話によると子供の頃は寺川で泳いだといいます。寺川がきれいになり、蛍が舞い、水遊びができるようになり、歴史ある寺川が自慢できるようになれば良いなと思います。桜井市域のすべての河川がきれいになればきっと我々の環境に対する意識は変わってほしいです。

大福地区社会福祉協議会 尾上 謙介



写真1



写真2



写真3



写真4

## 新議員としての抱負をお聞かせ下さい

この度、初めて桜井市議会議員になられた方々に以下の項目（3点）についての所感を、当会の「うるわし通信」に掲載させて頂きたく郵送でお尋ねさせて頂きました。

返答を頂いた方々の回答を紹介します。尚、回答は各項目につき50字以内で要請しました。

お忙しい中、ご回答頂きましてありがとうございました。（あいうえお順 敬称省略）

	①新議員としての抱負	② 女性議員が誕生となりましたが、男女共同参画の取組を今後どのように進めようと考えられますか。	③ 市の活性化に向けて何を重点的に進めるべきと考えられますか。
鍛治 結花	誰もが大切にされて、住んでいてよかった！と思える桜井市になるよう、市民の皆さんの声を議会に届けます。	ジェンダー平等・女性の権利を求めて、生きづらさ等困難をかかえ女性の声をよく聞いて、議会に届けます。	安全な保育環境、医療費窓口負担ゼロ、給食費の無償化等子育てしやすい桜井市を作り、若者の流入を図ります。
久保田 裕一	市民の皆様のパイプ役となり、皆様のお声をしっかりと市政へと届けて参ります。	女性議員との密な連携により、女性目線での政策をも共に力を入れていきたいと考えます。	子育て支援はもちろんの事、婚活支援にも力を入れ桜井市に人を増やし人が集まる町を作るべきだと考えます。
島岡 誠	市民の皆さまが安心して暮らせる桜井市にする為に、行政と連携し地域福祉の充実を図って行きたいです。	少子高齢化や子育て支援等に女性ならではの視点を取り入れ、男女隔りなく皆様の為に協力して行きたいです。	心と身体のバリアフリーを図り、歴史と文化のある魅力的な桜井市を全国に発信し、活性化を目指します。
杉山 歳和	スポーツを通じて地域に密着した活動をさせていただいてきたのもっと市政にも市民目線の意見や若い世代の意見を届けていけるように頑張ります。	子育て支援や教育についての意見を女性目線で伝えていただけるとは市政にとっても大切だと思います。僕自身も力になれるよう共に活動して行きたいです。	桜井市議会、最年少議員として若い発想と行動力で子育て世代はもちろんですが子供達にも意見を聞いて未来に向けた取り組みが大切だと考えています。
山岡 康了	全ては現場から始まり、積極的に足を運び安心・安全な街づくり。市民の為の市議会、市議会議員の変化を追求	久々に女性議員が誕生と言う事に驚いています。女性目線で活発な意見を出して頂き、協力して行きたいです。	人が集まる桜井市、近鉄桜井駅周辺の活性化。大神神社・長谷寺周辺の観光地化の強化

## うるわしの桜井をつくる会定時総会

第13回定時総会を下記の通り開催させていただきます、皆様のご出席をお待ちしています。

日時 令和5年6月18日(日)

13時(受付12時30分)

場所 桜井市粟殿355 木材振興センターあるぼ〜る

議案 令和4年度事業報告 同決算報告 同監査報告

令和5年度事業計画案 同予算案



## 編集子のつぶやき

前回(3/1号)、桜井市のパブリックコメント制度について数点の期待を込めた文章を書かせて頂いた。そして①桜井市子どもの貧困対策計画(案)②桜井市人権施策に関する基本計画(案)③第2期地域福祉計画・地域福祉活動計画(案)などが、意見募集されていることを紹介した。提出された意見や提案について、その概要と市の考え方などを3月31日に【募集の結果】として市のホームページで公開された。(現在も見ることば可能)

応募状況は、①が3人から6件の意見 ②が2人から16件の意見 ③が3者(個人以外もあったと思われる)から6件の意見が出されていた。また、同時期に行われていた④県水道事業の一体化⑤市の公共下水道区域変更の2件については応募の意見がなかったとのことである。(編集子も①〜③について応募)

私は、今まで市の回答=【募集の結果】は、ホームページだけでの広報と思っていたのだが、前号で紹介したパブリックコメント手続きの流れ(フロー図)の項目をホームページで再確認すると、【募集の結果】報告は、施策等案の公表方法と同様と書かれており、それには、

### 《方法》

1. 市長が指定する場所(下記に注釈あり)での閲覧(必須)
2. ホームページを利用した閲覧
3. 広報紙への掲載
4. 市長が指定する場所(下記に注釈あり)での配布

(注釈)現在は、実施担当課・情報公開コーナー・中央公民館・市立図書館・保健福祉センター「陽だまり」の5か所で実施しています。

とされていることから、現状は市民から出された意見や提案、そしてそれに対する市の考え方や修正があった場合の内容等が、広く周知する《方法》から、上記の2. だけに限られたものになっていることに気づいた。(市担当者とも確認)

\*市民や関係者から提案されたもの、そしてそれに対する市の考え方については、広く周知されることが必要であることを改めて提起しておきたい。

(うるわし通信編集者：楠木 克弘)

うるわし通信発行人  
ひがし俊克  
TEL:090-3652-8104